

INS メイト V30Tower を Windows Vista™がプレインストール されたパソコンでご使用になるお客様へ

2007 年 7 月

<ご案内>

INS メイト V30Tower をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
ます。

本紙は、INS メイト V30Tower を Windows Vista™がプレインストールされたパソコンでご使用になる場合の設定方法について説明しています。

【著作権者】 NTT 東日本 / NTT 西日本

【対象ユーザ - 】 INS メイトV30Tower をWindows Vista™のパソコンで
ご使用になるお客様

【転載条件】 転載禁止

《お知らせ》

Windows Vista™のパソコンで本商品をお使いになる方は、本商品の
Windows Vista™専用モデム定義ファイルをあらかじめ以下の本ホームページからダウンロードしてください。

NTT 東日本

http://web116.jp/ced/support/various/win_vista_support.html

NTT 西日本

http://www.ntt-west.co.jp/kiki/support/correspond/osrelated/vista_2.html

本商品は、Windows Vista™ Home Basic およびWindows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business、Windows Vista™ Ultimate の各日本語版の32 ビット (x86) 版に対応しています。Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

もくじ

1. Windows Vista™がプレインストールされたパソコンでご利用の場合	
1.1 お使いになる前に	3
1.2 ドライバのインストール	3
1.2.1 USB ポート接続の場合	3
1.2.2 RS-232Cポート（シリアルポート）接続の場合	6
1.2.3 インターネット接続の設定	8
1.2.4 インターネットへの接続	16
参考. ドライバのインストール失敗時の対処方法	17

1. Windows Vista™がプレインストールされたパソコンでご利用の場合

1.1 お使いになる前に

Windows Vista™ がプレインストールされたパソコンでINSメイトV30Towerをご利用いただくには、予め、弊社ホームページからダウンロードいただいたWindows Vista専用モデム定義ファイルを手動でインストールする必要があります。

お使いのパソコンによっては、Windows Vista™で表示される画面が、下記で説明している画面と異なることがあります。

《ご注意》

Windows Vista™をご利用の際、ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。



上記画面は、ユーザーアカウント制御画面の一例です。

《Windows Vista™ での制限事項》

「INSメイトV30Tower イージーウィザード」による[USBドライバの自動インストール機能]は使用できません。

作業手順

USBポート接続の場合はUSBドライバのインストール、RS-232Cポート(シリアルポート)接続の場合はモデム定義ファイルのインストールをする。

インターネット接続の設定を行う。

1.2 ドライバのインストール

1.2.1 USBポート接続の場合

USBドライバの手動インストール

1. Windows Vista™を起動する。

起動中のアプリケーションがある場合は、すべて終了させてください。

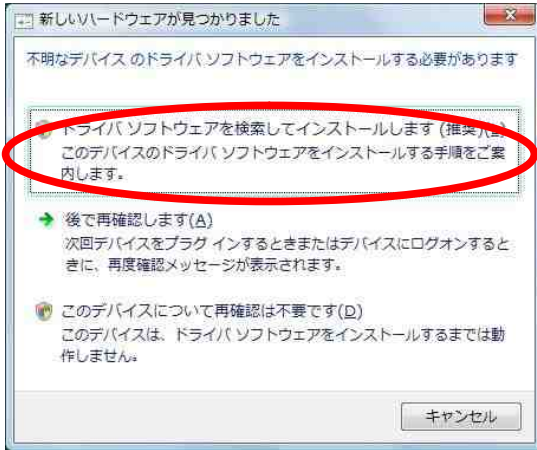
2. パソコンのUSBポートと本商品のUSBポートをUSBケーブルで接続する。

「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されます。

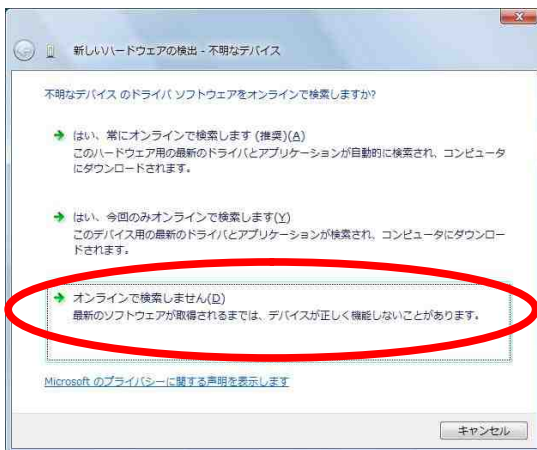
《ご注意》

「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されなかった場合、P.17 参考.「ドライバのインストール失敗時の対処方法」の手順に従って、ドライバソフトウェアの更新を実行してください。

3. [ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)]をクリックする。



4. [オンラインで検索しません]をクリックする。



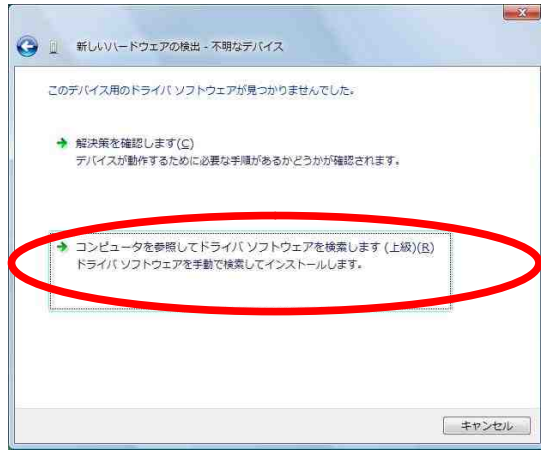
《ご注意》

この画面が表示されず、「デバイス用のドライバソフトウェアが見つかりましたが、このドライバのインストール時にエラーが発生しました」と表示された場合は、P.17 参考、「ドライバのインストール失敗時の対処方法」を参照してください。

また、お使いのパソコンによってはこの画面が表示されない場合があります。

表示されない場合は、次の手順へお進みください。

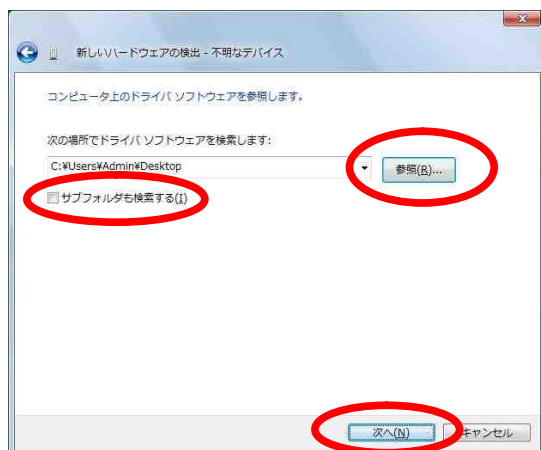
5. [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)]をクリックする。



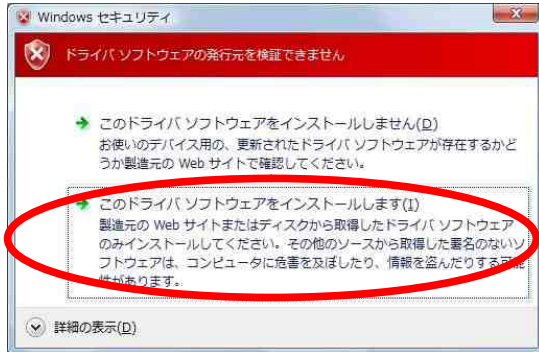
6. あらかじめダウンロードしておいたWindows Vista専用モデム定義ファイル (MDMV30TV. INF) を参照可能な場所に保存する。

7. [参照]をクリックし、Windows Vista専用モデム定義ファイルが格納されたフォルダを選択する。

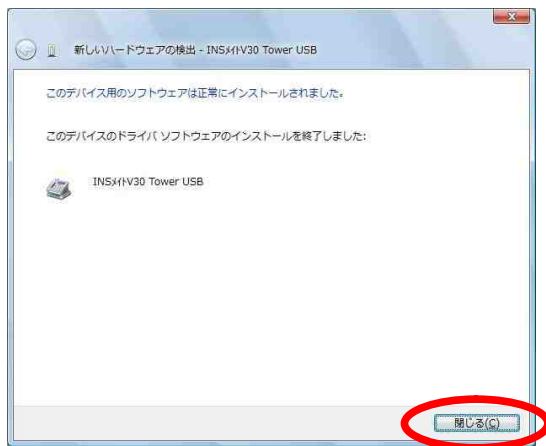
[サブフォルダも検索する]のチェックを外し、[次へ]をクリックする。



8. [このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックする。



9. [閉じる]をクリックし、インストールを完了する。



USB ドライバのインストールの確認

「INSx1V30Tower USB」がモデムデバイスとして認識されていることを確認します。

1. Windowsの[スタート]ボタン [コントロールパネル]の順にクリックする。

コントロールパネルが表示されます。

2. [システムとメンテナンス]をクリックする。

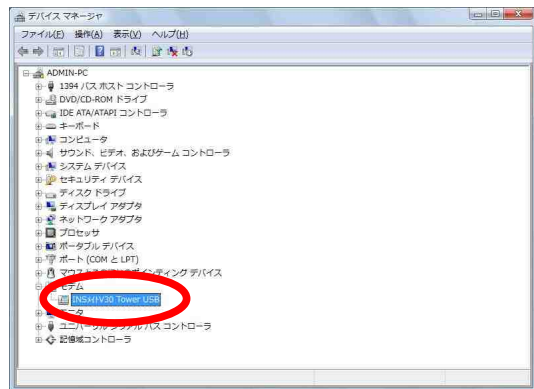
《ご注意》

クラシック表示になっている場合は、[コントロールパネルホーム]をクリックし、表示形式を切り替えてください。

3. [システム]をクリックする。

4. [デバイスマネージャ]をクリックする。

5. 「モデム」左側の「+」アイコンをクリックし、「INSx1V30Tower USB」が表示されていることを確認する。



続けてプロバイダにダイヤルアップ接続するための設定を行います。P.8 「1.2.3 インターネット接続の設定」へ進んでください。

1.2.2 RS-232Cポート(シリアルポート)接続の場合

モデム定義ファイルの手動インストール

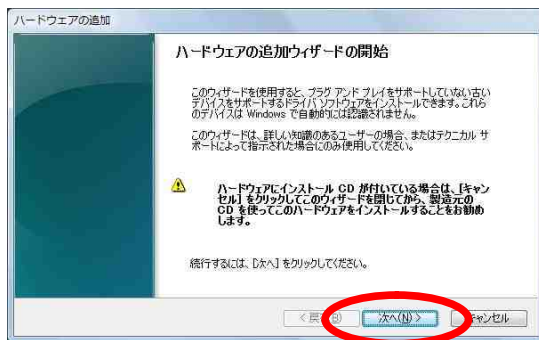
1. Windows Vista™を起動する。

起動中のアプリケーションがある場合は、すべて終了させてください。

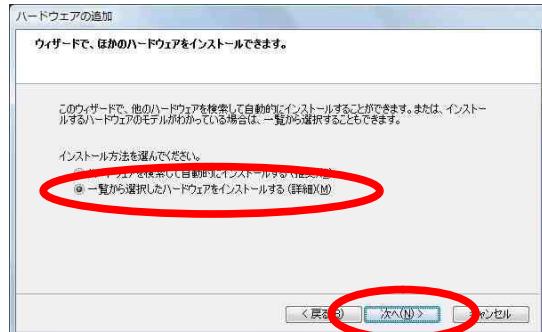
2. パソコンのRS-232Cポート(シリアルポート)と本商品のRS-232Cポート(シリアルポート)を接続する。

3. Windowsの[スタート]ボタン [コントロールパネル] [クラシック表示]の順にクリックする。コントロールパネルが表示されます。

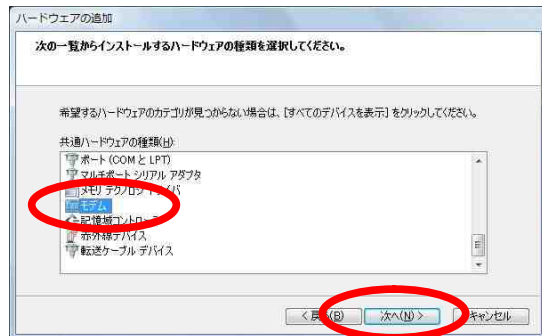
4. 「ハードウェアの追加」をダブルクリックし、[次へ]をクリックする。



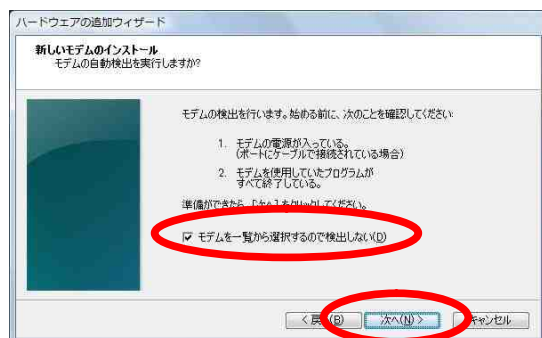
5. [一覧から選択したハードウェアをインストールする(詳細)]をチェックし、[次へ]をクリックする。



6. 一覧から「モデム」を選択し、[次へ]をクリックする。

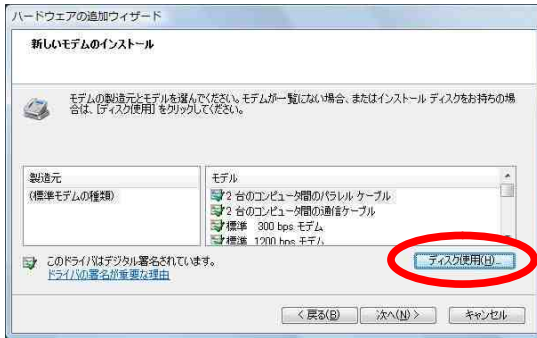


7. [モデムを一覧から選択するので検出しない]をチェックして、[次へ]をクリックする。

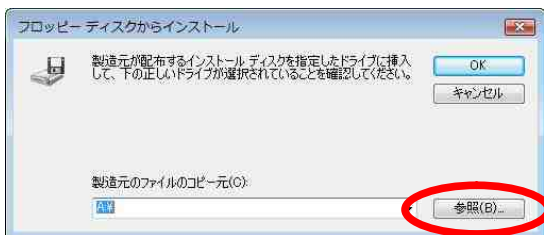


8. あらかじめダウンロードしておいたWindows Vista専用モデム定義ファイル (MDMV30TV.INF) を参照可能な場所に保存する。

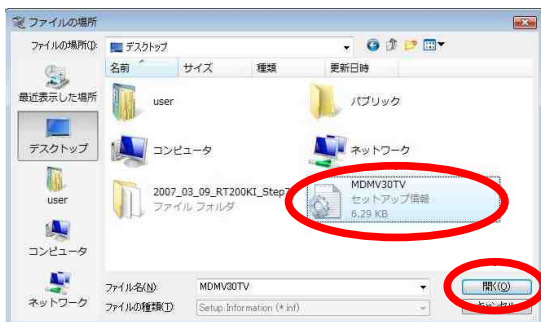
9. [ディスク使用]をクリックする。



10. [参照]をクリックする。



11. Windows Vista専用モデム定義ファイルを選択し、[開く]をクリックする。

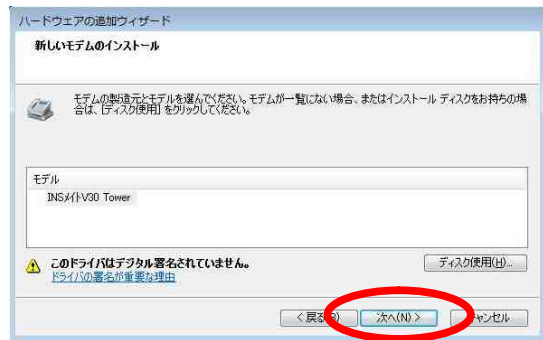


上記画面はMDMV30TV. INFをデスクトップ上に保存した場合の例です。

12. [OK]をクリックする。

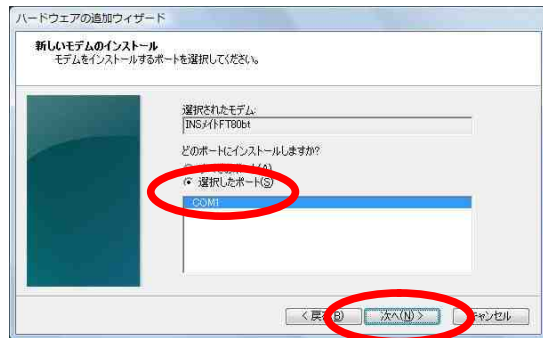


13. [次へ]をクリックする。



14. 「選択したポート」のラジオボタンがチェックされていることを確認後、「COM1」を選択し、[次へ]をクリックする。

(RS-232CポートがCOM1としてOSに認識されている場合の例です。)



15. [完了]をクリックし、インストールを完了する。



モデム定義ファイルのインストールの確認

認

「INS M1t V30Tower」がモデムデバイスとして認識されたことを確認します。

1. Windowsの[スタート]ボタン [コントロールパネル]の順にクリックする。

コントロールパネルが表示されます。

2. 「システムとメンテナンス」をクリックする。

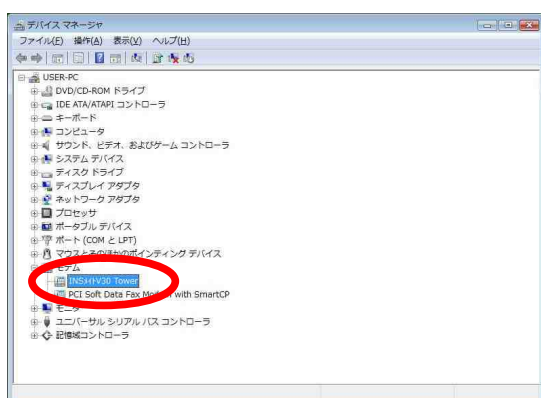
《ご注意》

クラシック表示になっている場合は、[コントロールパネルホーム]をクリックし、表示形式を切り替えてください。

3. [システム]をクリックする。

4. [デバイスマネージャ]をクリックする。

5. 「モデム」左側の「+」アイコンをクリックし、「INS M1t V30Tower」が表示されていることを確認する。



続けてプロバイダにダイヤルアップ接続するための設定を行います。「1.2.3 インターネット接続の設定」へ進んでください。

1.2.3 インターネット接続の設定

ダイヤルアップ接続アイコンの作成

プロバイダにダイヤルアップ接続するためのアイコンを作成します。なお、設定内容はプロバイダによって異なるため、詳細はご利用になるプロバイダにお問い合わせください。

Ethernetインターフェースを搭載したパソコンの場合、手順2の画面で「インターネットへの接続」が表示されない場合があります。

その場合は、P.10 の手順《「インターネットへの接続」画面が表示されない場合》でダイヤルアップ接続アイコンを作成してください。

1. Windowsの[スタート]ボタン [コントロールパネル]の順にクリックする。

コントロールパネルが表示されます。

2. 「インターネットへの接続」をクリックする。

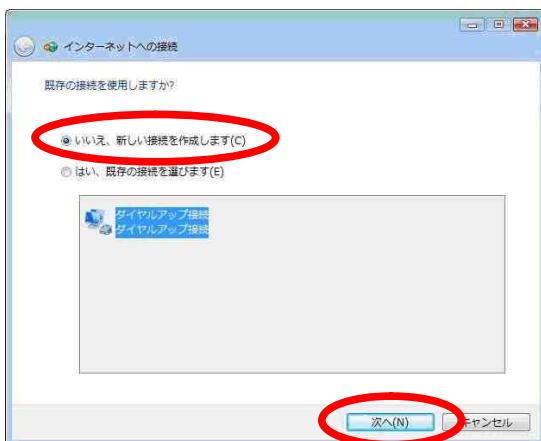


「インターネットへの接続」画面が表示されません。

《ご注意》

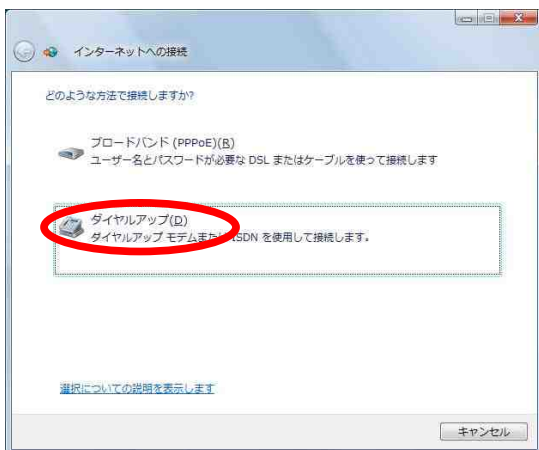
クラシック表示になっている場合は、[コントロールパネルホーム]をクリックし、表示形式を切り替えてください。

3. 既に接続アイコンが存在する場合は、「既存の接続を使用しますか?」画面が表示されるので、[いいえ、新しい接続を作成します]を選択し、[次へ]をクリックする。



接続アイコンが存在しない場合は、画面は表示されません。

4. [ダイヤルアップ]をクリックする。

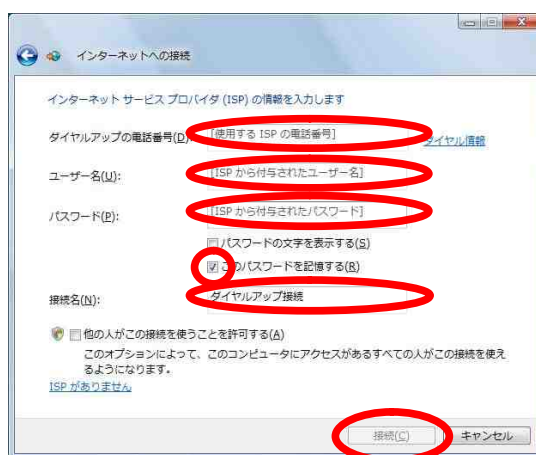


《ご注意》

「どのモデムを使用しますか」画面が表示されたときはINSXtV30Tower USB (USBポート 接続の場合)または、INSXtV30Tower (RS-232Cポート(シリアルポート)接続の場合)を選択します。

5. [ダイヤルアップの電話番号]、[ユーザー名]、[パスワード]、[接続名]を入力し、[このパスワードを記憶する]にチェックし、[接続]をクリックする。

フレッツ・ISDNサービスをご契約いただいている方は[ダイヤルアップの電話番号]欄に“1492”と入力してください。



接続テストが行われます。

6. 接続テスト結果を確認する。

接続テストに成功の場合、[閉じる]をクリックして、手順7に進みます。



接続テストに失敗の場合、「接続をセットアップします」を選択し、[閉じる]をクリックして、次ページの手順《接続テストが失敗した場合》を行ってください。



7. 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されるので、ご利用の環境をクリックする。



「ネットワークの場所の設定」画面は、お使いのパソコンによっては、表示されない場合があります。表示されない場合は、次の手順へお進みください。

8. [閉じる]をクリックする。

9. インターネットへの接続を切断するときには、タスクトレイの「ダイヤルアップ接続アイコン」を右クリックし、[切断]の中から該当する接続先をクリックする。

回線が切断されます。

《「インターネットへの接続」画面が表示されない場合》

Ethernet インターフェースを搭載したパソコンの場合、P.8 手順2の画面で「インターネットへの接続」が表示されない場合があります。

その場合は、次の手順でダイヤルアップ接続アイコンを作成し、接続テストを行ってください。

1. Windows の[スタート]ボタン [コントロールパネル] [ネットワークとインターネット] [ネットワークと共有センター] [接続またはネットワークのセットアップ]の順にクリックする。
2. [ダイヤルアップ接続をセットアップします]を選択して、[次へ]をクリックする。
P.9 手順5へ進んでください。

P.9 手順5の画面で[接続]ではなく[作成]が表示された場合は [ダイヤルアップの電話番号]、[ユーザー名]、[パスワード]を入力して、[作成]をクリックし、次項の《接続テストが失敗した場合》へ進んでください。

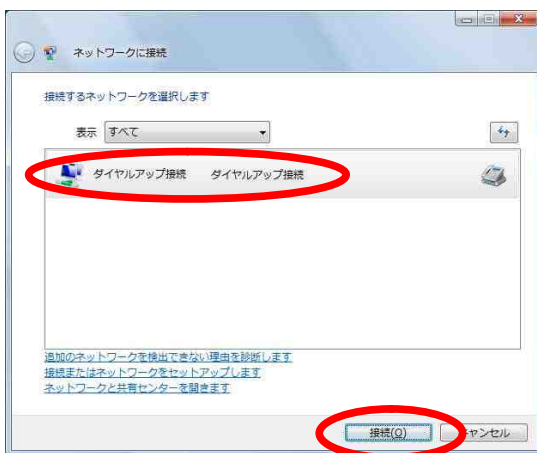
《接続テストが失敗した場合》

以下の手順を行ってください。

1. Windows の[スタート]ボタン [接続先]をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

2. 設定した接続名を選択し、[接続]をクリックする。



「ダイヤルアップ接続へ接続」画面が表示されます。

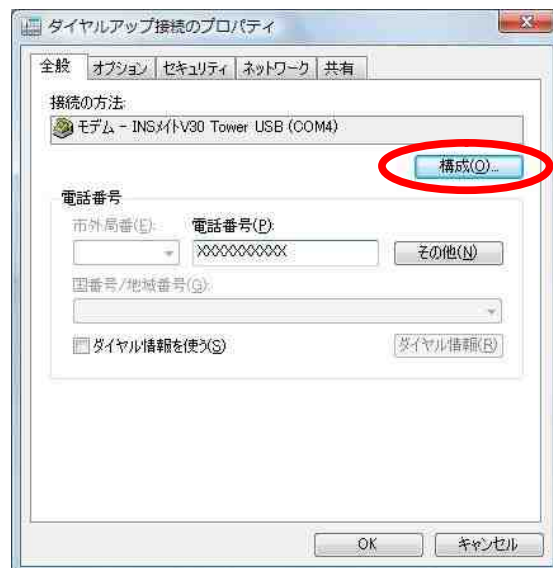
上記画面は、例として接続名を「ダイヤルアップ接続」で、ダイヤルアップ接続アイコンを作成した場合の画面です。

3. [ユーザー名][パスワード][ダイヤル]の各内容が正しいことを確認し、[プロパティ]をクリックする。



「ダイヤルアップ接続 プロパティ」画面が表示されます。

4. [構成]をクリックする。



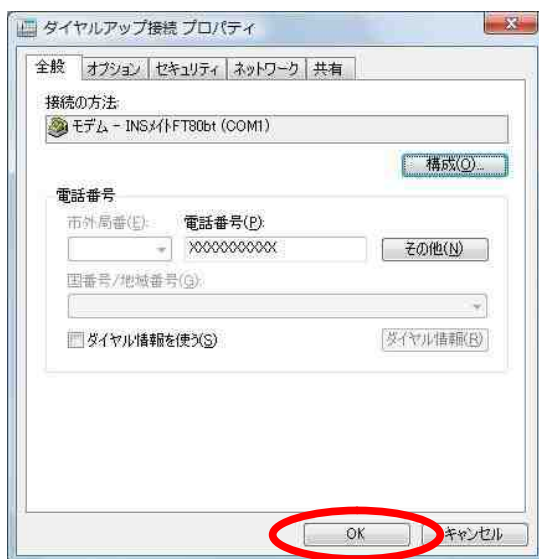
「モデムの構成」画面が表示されます。

5. [モデムプロトコル]をご利用になる環境に合わせて、「PPP(128K)」または「PPP(64K)」に変更する。

「ハードウェアの機能」のすべてのチェックを外し、[OK]をクリックする。



6. 「ダイヤルアップ接続プロパティ」画面で[OK]ボタンをクリックする。



7. [ダイヤル]をクリックし、再度接続テストを行う。



接続テスト成功の場合、[閉じる]をクリックして、P.10 手順7に進みます。

TCP/IP の設定

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバーの情報を設定します。プロバイダから通知された DNS(ドメインネームシステム)サーバーなどの情報が必要です。

1. Windows の[スタート]ボタン [コントロールパネル]の順にクリックする。

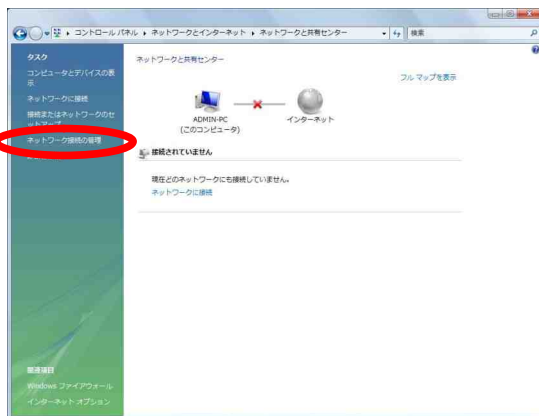
コントロールパネルが表示されます。

2. [ネットワーク状態とタスクの表示]をクリックする。

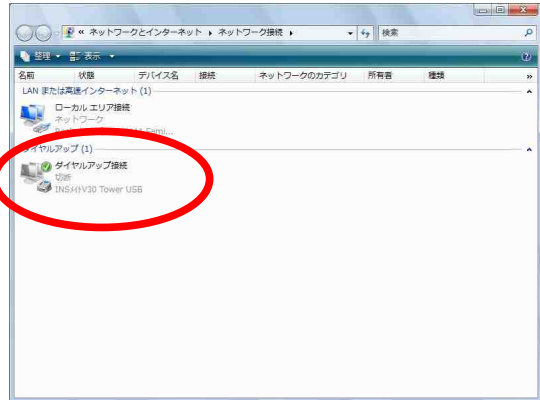
《ご注意》

クラシック表示になっている場合は、[コントロールパネルホーム]をクリックし、表示形式を切り替えてください。

3. [ネットワーク接続の管理]をクリックする。



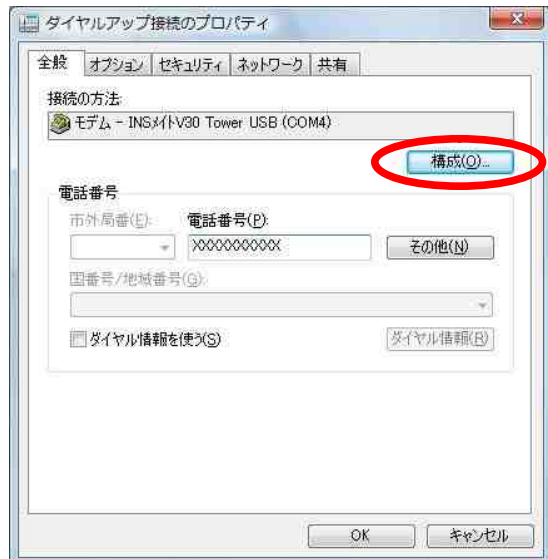
4. 「ダイヤルアップ」で作成した接続名にマウスカーソルをあて、マウスの右ボタンで[プロパティ]をクリックする。



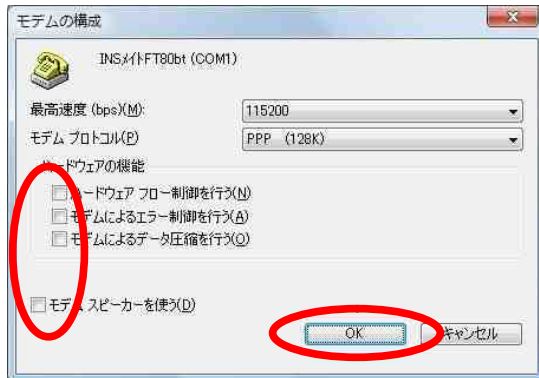
「ダイヤルアップ接続のプロパティ」画面が表示されます。

上記画面は、例として接続名を「ダイヤルアップ接続」で、ダイヤルアップ接続アイコンを作成した場合の画面です。

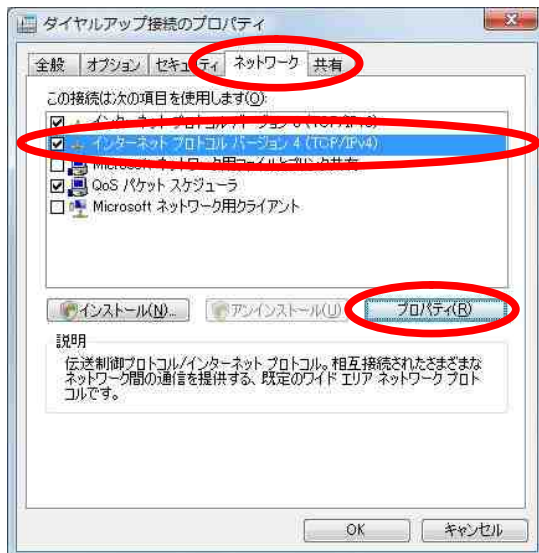
5. [構成]をクリックする。



6. 「ハードウェアの機能」のすべてのチェックを外し、[OK]をクリックする。



7. [ネットワーク]のタブを選択し、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックする。

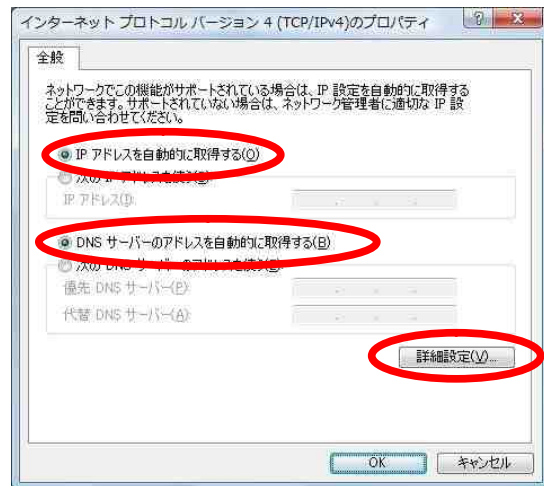


「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」画面が表示されます。

8. 「IPアドレスを自動的に取得する」がチェックされていることを確認し、DNSサーバーを設定する。

DNSサーバーから自動的に取得する場合は「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をチェックしてください。

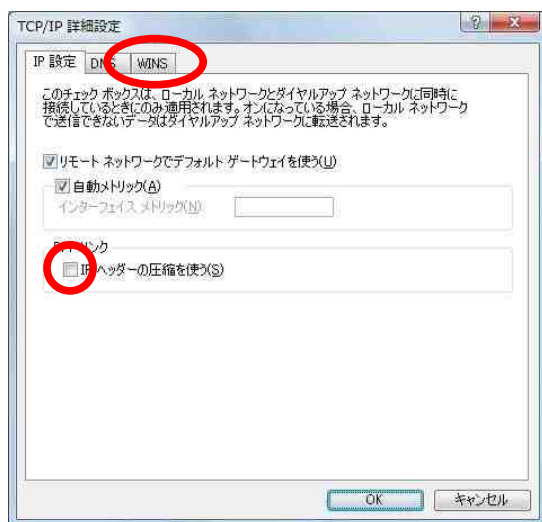
プロバイダからDNSサーバーを指定されている場合は、「次のDNSサーバーのアドレスを使う」をチェックし、指定のDNSサーバーのIPアドレスを入力してください。



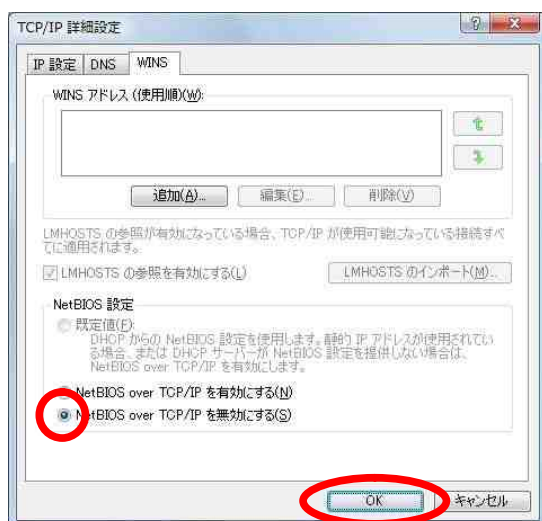
9. [詳細設定]をクリックする。

「TCP/IP 詳細設定」画面が表示されます。

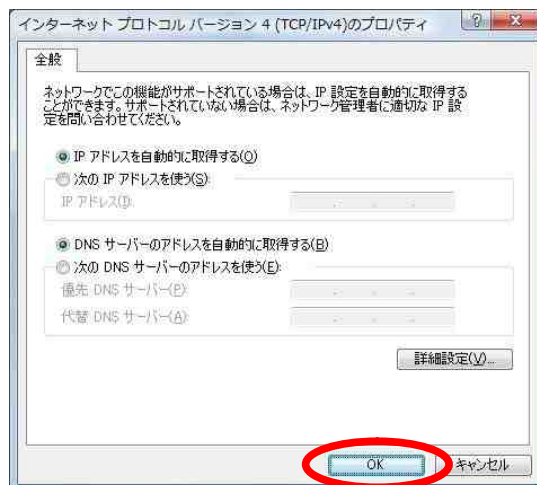
10. [IP ヘッダーの圧縮を使う]のチェックを外し、
[WINS]タブをクリックする。



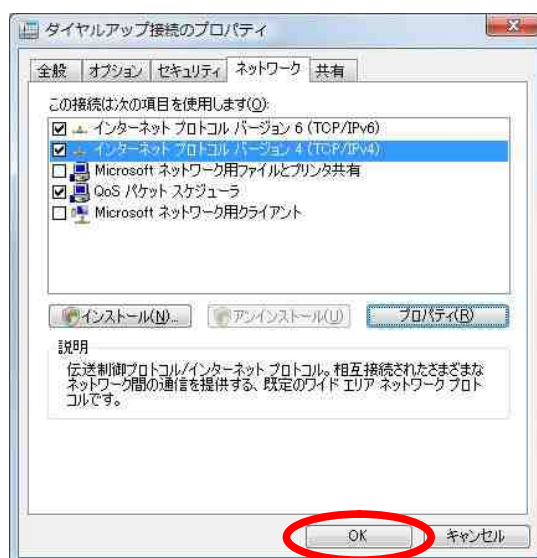
11. [NetBIOS over TCP/IP を無効にする]をチェッ
クし、「OK」をクリックする。



12. 「インターネットプロトコル バージョン
4(TCP/IPv4)のプロパティ」画面で[OK]をクリ
ックする。



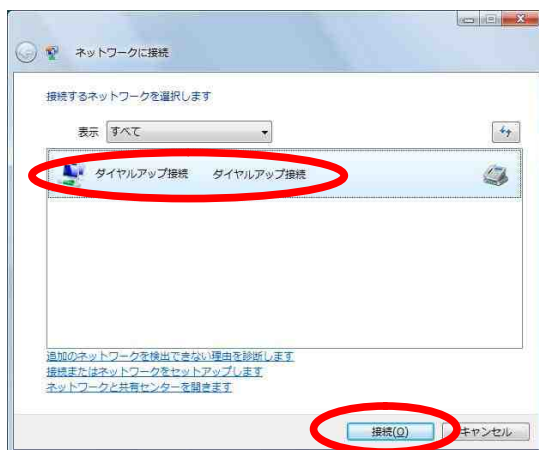
13. 「ダイヤルアップ接続先プロパティ」画面で
[OK]をクリックする。



1.2.4 インターネットへの接続

プロバイダのサーバーに正しく接続できるか、接続操作で確認します。

1. Windowsの[スタート]ボタン [接続先]をクリックし、作成された[ダイヤルアップ接続]アイコンを選択し、[接続]ボタンをクリックする。



「ダイヤルアップ接続へ接続」画面が表示されます。

2. [ダイヤル]をクリックする。



アクセスポイントにダイヤルされます。

「ユーザー名」と「パスワード」が確認され、インターネットへの接続が完了すると、パソコン画面右下のタスクトレイに「ダイヤルアップ接続アイコン」が表示されます。

お使いのパソコンによってはタスクトレイのアイコン表示が使用不可(×マーク)から使用可(×マークが消えます)に変わります。

3. 電子メールソフトやWWWブラウザなどのアプリケーションを起動する。

この状態で、さまざまなインターネットアプリケーションを使用できます。

4. インターネットへの接続を切断するときには、タスクトレイの「ダイヤルアップ接続アイコン」を右クリックし、[切断]の中から該当する接続先をクリックする。

回線が切断されます。

**参考． ドライバのインストール失敗時の
対処方法**

**《ドライバのインストール失敗時の対処方
法》**

- ・ P.3 手順2で「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されなかった場合は、次の手順でドライバのインストールを行ってください。
- ・ P.4 手順4で「デバイス用のドライバソフトウェアが見つかりましたが、このドライバのインストール時にエラーが発生しました」と表示された場合は、次の手順でドライバのインストールを行ってください。

1. Windowsの[スタート]ボタン [コントロールパネル]の順にクリックする。

コントロールパネルが表示されます。

2. [システムとメンテナンス]をクリックする。

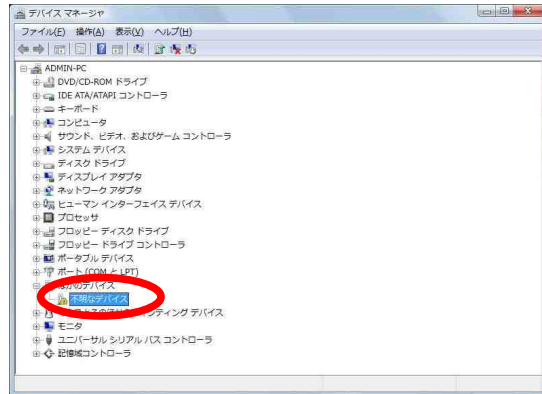
《ご注意》

クラシック表示になっている場合は、[コントロールパネルホーム]をクリックし、表示形式を切り替えてください。

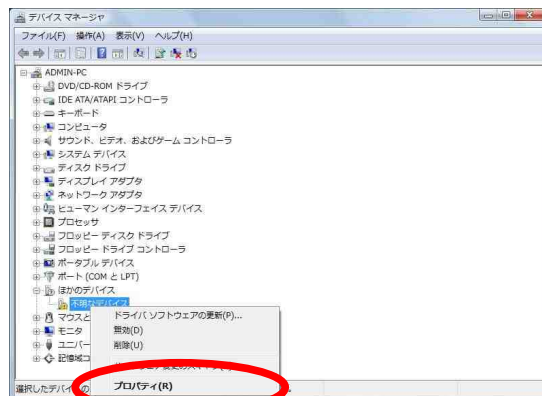
3. [システム]をクリックする。

4. [デバイスマネージャ]をクリックする。

5. [ほかのデバイス]をクリックし、[不明なデバイス]が表示されていることを確認する。



6. 「不明なデバイス」にマウスカーソルをあて、マウスの右ボタンで[プロパティ]をクリックする。



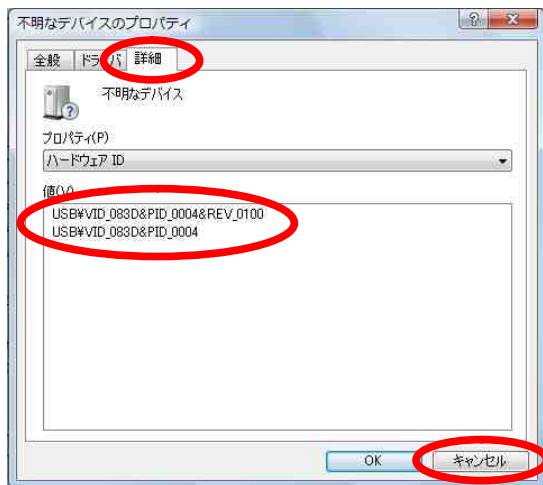
7. [詳細]タブをクリックし、ハードウェア IDの値が

USB¥VID_083D&PID_0004&REV_0100

(または USB¥VID_083D&PID_0004&REV_0001)

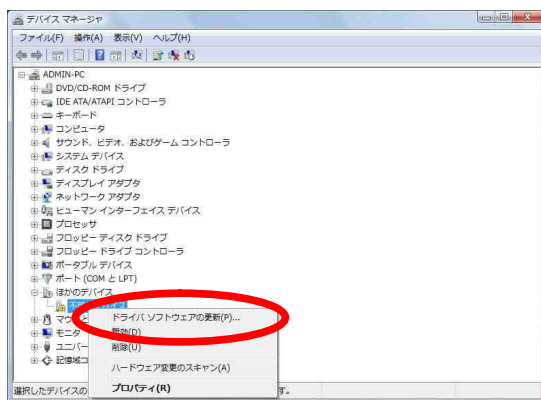
USB¥VID_083D&PID_0004

であることを確認し、[キャンセル]をクリックする。

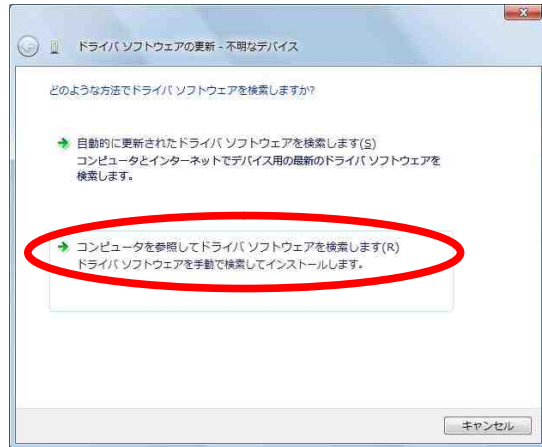


手順 6 で[不明なデバイス]が複数存在する場合は、手順 6 と 7 を繰り返し、ハードウェア ID が一致するデバイスを探し出してください。

8. ハードウェア ID が一致した「不明なデバイス」を右クリックし、[ドライバソフトウェアの更新]を選択する。



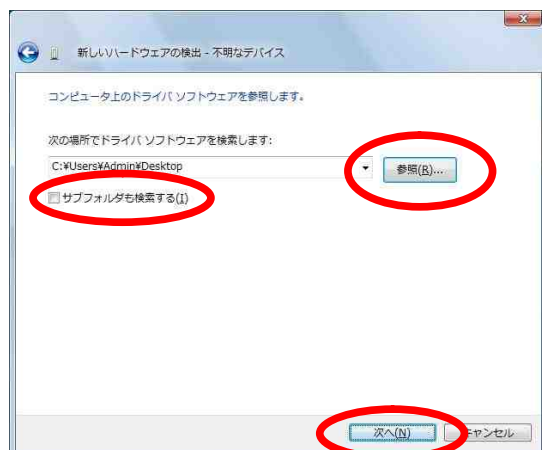
9. [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します]をクリックする。



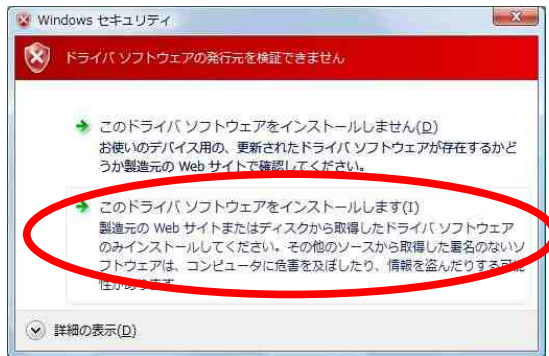
10. あらかじめダウンロードしておいたWindows Vista専用モデム定義ファイル (MDMV30TV.INF) を参照可能な場所に保存する。

11. [参照]をクリックし、Windows Vista専用モデム定義ファイルが格納されたフォルダを選択する。

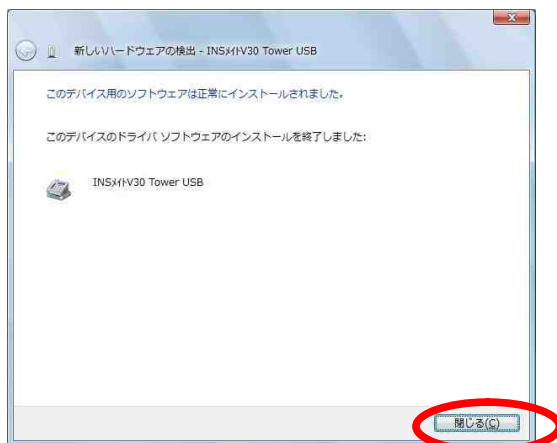
[サブフォルダも検索する]のチェックを外し、[次へ]をクリックする。



12. [このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックする。



13. [閉じる]をクリックし、インストールを完了する。



インストール完了後は、P.5 「USBドライバのインストールの確認」へ進んでください。